

共同プレスリリース（仮訳）
第 12 回 ITER 政府間協議
2005年12月6日 韓国、済州島

中国、欧州連合、日本、韓国、ロシア連邦及びアメリカ合衆国の政府代表団は ITER 国際核融合エネルギー計画の共同実施のための協定に関する政府間協議を完了させるために、2005年12月6日に韓国の済州島で会合を開催した。

韓国が ITER に関する政府間協議をホストするのは初めてのことである。

会合の冒頭、代表団は全会一致のもとで熱意をもってインドを ITER 計画の正規の参加極として歓迎した。その後、インドの代表団は会合に加わり、議論に全面的に参加した。この新たな展開によって、いまや世界人口の半分以上がこの世界的な計画に参加した。

7 極の代表団は、新たに指名された機構長予定者であり、ITER 計画のリーダーとしての責務を負うことになる池田要大使の会合への出席を歓迎した。

本会合に先立って 1 週間にわたって集中的に開かれた作業会合の結果に基づき、代表団は、将来の ITER 機構における議決方式、知的財産、運営の問題、インドの参加に伴う資源分担の調節、特に費用分担や物納貢献などの残っていた問題の解決に成功した。

この成果によって、代表団は彼等の作業が終了し、政府間協議をより高いレベルで終結させる道が開かれたと喜びをもって宣言した。